

あ ら や 衆 報

NO. 127 平成28年8月1日

- ② 会長あいさつ
- ③ 秋田市新屋振興会総会
- ⑥ 特集
- ⑧⑨ 赴任あいさつ
- ⑩ 振興会報告
- ⑪⑫ 新屋の伝統行事
- ⑬ 新屋のアスリートたち②

発行・秋田市新屋振興会(発行責任者 小島初男)

編集・秋田市新屋振興会広報部

印刷・(株)全農ビジネスサポート秋田支店

新屋振興会ホームページアドレス

<http://araya-shinkoukai.com/>



新屋まちづくり拠点施設 完成予想図

〈会長あいさつ〉

いよいよ始まるぞ!!



秋田市新屋振興会

会長 小島初男

いつも、当振興会の活動にご支援をいただきありがとうございます。待ちに待った新屋まちづくり拠点施設の工事が七月十一日から始まりました。平成二十四年六月に提出した要請が具体化します。芸術と文化が薫るまち新屋」をコンセプトに、新政酒造跡地千九百七十五坪に、木造平屋一部鉄筋コンクリート造二階建て四百四十四坪の建物が八億六千万円の予算で建築されます。中には、ホワイエ(地域交流活動)・地場産品の販売やクラフト展などに使用)、ガラス工房(制作工房や市民へのレンタル工房として使用・美大の卒業生を含む若手アーティストの独立・起業を応援する工房)アトリエ(スタッフや作家・若手アーティスト(レンタル)企画立案・制作)カフェ・ショップ(新屋の地場産品の活用企業支援・飲食提供に作品使用体験・ニーズ把握・作品販売)ギャラリー(起業支援のための作

品展示・企画展・作家・美大生・市民が交流し、ものづくりについて学べる場)交流広場(地域交流や祭など地域イベントに使用)湧水を利用した水遊び場などで構成されます。全体が町家風の一つづきの建物が、来年六月末に完成します。愛称の募集や、カフェ・ショップの運営には、新屋のみならずにも是非かわってほしいと期待しています。

この春から美大生も四年生までそろい、街中に彼等の姿を多く見かけるようになりました。市の無形民俗文化財に指定された「あらの鹿嶋祭」にも、二十一名の美大生がかかわり、九町内で彼等の協力・応援を得、見返り人形等の質の向上が見られたことは、うれしきかぎりです。若者の力をかりながら、にぎわいのある町づくりに生かしたいものです。

みな様のご理解・応援をよろしくお願いいたします。

新屋まちづくり 拠点施設 完成予定図

ショップ・カフェ

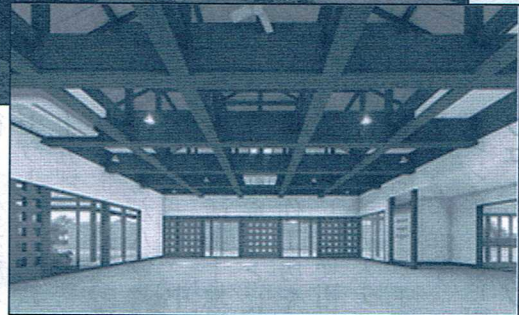
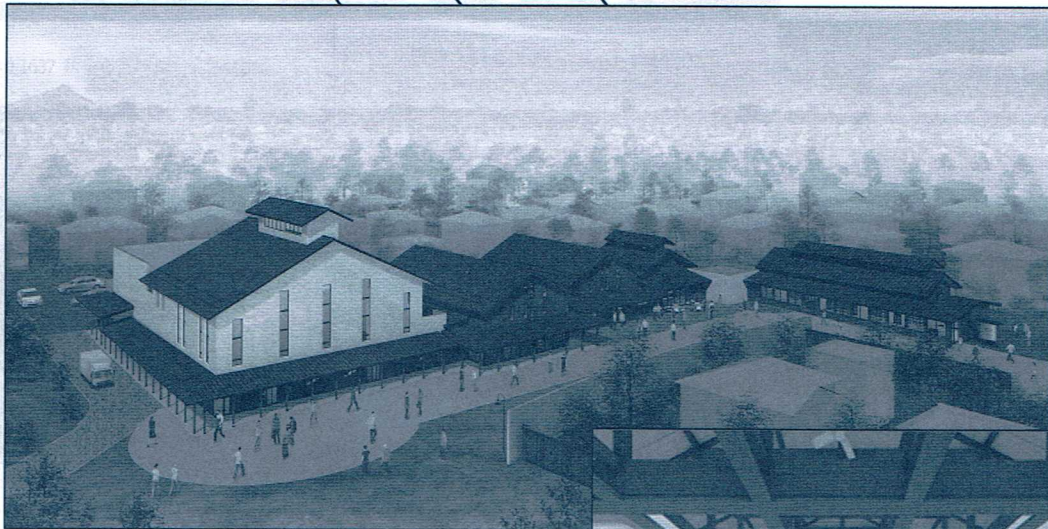
工房で制作した作品を販売します。お気に入りの作家の作品はあるかな？テラスでお茶を飲みながらの談笑もOKで

トイレ

多目的トイレもあります。

ギャラリー

ガラスはもちろん様々な作家の作品を展示します。ガラスとのコラボ作品も楽しみです。



ホワイエ内部

ガラス工房

ガラスを吹いてグラスを作ったりアクセサリを作ります。

屋外広場

芝生の広場では鹿嶋祭りや水祭り、地域の物販などもいいですね。

ホワイエ

団らんの場や広い空間を意味するホワイエではガラス作品の制作風景が見られます。体験講座もここで開催します。

資料提供 秋田市



三菱マテリアル 株式会社

秋田製錬所 宮川 昌樹
所 長

秋田市茨島三丁目1番18号

木 とともに未来を拓く

日本製紙株式会社

執行役員秋田工場長 吉田 彰彦

〒010-1601 秋田市向浜二丁目1番1号

TEL(018)896-7700 FAX(018)896-7690



平成二十八年 秋田市新屋振興会

定期総会開催

平成二十八年度の秋田市新屋振興会定期総会が、去る四月十九日（火）午後五時半から西部市民サービスセンターで行われました。

町内会長・評議員・振興会理事・会計監事・顧問・相談役を含め四十五名が出席し、議長に佐藤勇吉比内町町内会長を選出して議事に入りました。

総会では、事務局から二十六年度の事業実施報告・一般会計等の収支決算及び会計監査報告、続いて二十七年の事業計画案・一般会計等の収支案が提案され質疑に入り、各議案とも満場一致で承認されました。



平成27年度「秋田市新屋振興会」各部事業実施報告

年月日	報告事項
(総務部)	
27. 7. 15	総務部会開催
7. 26	ゴミ集積所清掃デー (各町内会長宛依頼文書発送)
11. 14	新年会打合せ①
11. 21	新年会打合せ②
11. 28	新年会打合せ③
12. 7	各種団体との意見交換会 (ウェスターにて8団体参加)
12. 16	新年会打合せ④
28. 1. 9	新年会開催 (ウェスターにて128名参加)
2. 5	総務部会開催 (新年会反省会と新年度活動計画について)
(企画開発部)	
27. 5. 7	部会：要望事項、風力発電を学ぶ会の実施日程等について
5. 30	要望事項案内状送付
6. 24	「風力発電について学ぶ会」開催
7. 23	町内から要望事項回収、パソコン入力開始
7. 24～	部会：要望事項の入力チェック・検討
8. 3～	日新小・西中から要望事項の聴き取り・写真撮影
8. 27	要望事項 現地調査および資料づくり
9. 4	要望事項を理事・評議員会に諮る
11. 24	要望事項を秋田県及び秋田市に提出
12. 10	要望の回答について理事・評議員会に報告
28. 3. 4	要望事項の次年度継続について意見交換会 部会：新年度活動計画について
(安全対策部)	
27. 5. 8	部会：自主防災協議会総会実施について
6. 9	自主防災協議会総会並びに研修会
9. 16	部会：防災体験学習会について

年月日	報告事項
10. 30	秋田県防災学習館において体験学習
11. 15	自主防災協議会に対し、秋田県知事賞を受賞
12. 1	新屋地区道路除排雪懇談会
28. 2. 29	秋田県知事賞を受けての祝賀会開催
3. 11	秋田中央警察署主導で秋田西中学校において防災訓練 (近隣四町内協力)
(広報部)	
27. 4. 30	「あらや衆報」第125号8月1日発行の編集方針会議
6. 19	原稿依頼、協賛広告依頼等作業分担会議
7. 16	原稿校正会議
8. 10	最終校正会議
8. 12	「あらや衆報」第125号刷り上がり・配布発送作業
10. 2	「あらや衆報」第126号平成28年1月1日発行の編集方針及び作業分担会議
11. 12	進捗状況の確認と原稿校正会議
12. 22	原稿最終校正会議
12. 25	「あらや衆報」第126号刷り上がり・配布発送作業

地域共栄

地域の皆さまのお役に立つ銀行として、よりよいサービスの提供を目指してまいります。



秋田銀行

新屋支店 TEL018-828-2233

一 般 会 計

(円)

平成28年度秋田市新屋振興会事業計画

		平成27年度決算		平成28年度予算	
収入の部	会 費	978,400	@200×4,892世帯	985,800	@200×4,929世帯
	繰 越 金	356,407	26年度繰越分	370,679	27年度繰越分
	繰 入 金	24,287	新年会剰余金	0	新年会剰余金
	協 賛 金	459,200	「あや衆報」広告収入	460,000	
	寄 付 金	0		0	
	雑 収 入	80,108	預金利息	521	預金利息
	計	1,898,402		1,817,000	
支出の部	会 議 費	187,045	総会・理事会・三役部長会	240,000	総会・理事会・三役部長会
	事 務 費	45,398	事務用品・コピー等	90,000	事務用品・コピー、切手等
	事務局費	20,000	事務局長・会計手当	20,000	
	部会活動費	40,185	各部活動費	80,000	各部活動費
	広 報 費	723,535	「あや衆報」125-126号分	750,000	「あや衆報」127-128号分
	安全対策費	42,576	自主防災関連経費	90,000	自主防災関連経費
	委員会等運営費	0		15,000	
	負 担 金	166,000	スクールコンサート、西部振興会	170,000	スクールコンサート、西部振興会
	補 助 金	0		0	
	繰 出 金	100,000	特別会計に繰出し	0	
	諸 支 出 金	92,600	諸団体会議参加費等	140,000	日吉祭典等
予 備 費	103,884		222,000		
計	1,521,223		1,817,000		

担当部局	日 程	事業内容
総務部	28年6月 7月27日 11月～12月 29年1月7日 2月	総務部会開催 ゴミ集積所清掃デー (各町内会長へ依頼文書発出) 新年会開催準備 新年会開催(ウェスター) 部会：新年会反省会と新年 度活動計画について
企画開発部	28年	1. 要望事項の実施 2. 带状近隣公園のホテル 飼育に関する説明会の実施 3. 空き家・空き地の活用 法について学ぶ会の実施 4. 秋田公立美術大生の親 に、新屋を紹介するDVD or CDを送る
安全対策部	28年6月上旬 10月上旬 11月下旬	自主防災協議会総会並びに 研修会 防災に対する学習会 新屋地区道路除排雪懇談会 年間 1. 県の防災学習会での体 験学習を各町内に勧める 2. 火災警報器、火災消火 器設置の呼びかけ 3. 家具の配置と転倒防止 策の呼びかけ 4. 秋田市が実施する防災 訓練等に積極的に参加
広報部	28年8月1日 29年1月1日	「あや衆報」第127号の発行 「あや衆報」第128号の発行

快適生活製造業。

太陽光発電・家庭用燃料電池・LPガス
薪ペレットストーブ・ECOボイラー
株式会社オノプロックス
〒010-1637 秋田市新屋扇町7-41
TEL018-828-2108 FAX828-2177
E-mail onoprox@coral.broba.cc

あや整骨院
☎828-0177
秋田市新屋扇町12-22

ギフトのことならなんでも
シャディサラダ館 新屋店
秋田市新屋表町12-50
電話 018-828-1691
WEBサイト 読取で簡単アクセス⇒

電気設備工事・設計施工
有限会社 **打矢電気工業**
代表取締役 打矢道雄
秋田市新屋表町11-23
TEL 828-2923 FAX 828-2920

健康と快適の明日を考える
ワタキューセイモア株式会社
病院・施設器具等賃貸業務及び販売業務
秋田市新屋扇町1-69 TEL018-828-4851

平成28年度新屋振興会評議員

No.	町内名	町内会長評議員	評議員	No.	町内名	町内会長評議員	評議員
1	緑町	大塚正一	田中竹道	13	比内町	佐藤勇吉	
2	笹町	佐々木忠善		14	大川町	狩野紀男	高橋真人
3	北新町	川田直政	菅原勇	15	十條団地	富田漣	高橋勝
4	南新町	君川誠一		16	駅前町	高橋昭一	
5	下表町	赤沼侃	今野正人	17	沖田町	岡田徳美	小野均
6	中表町	子吉弘光		18	南団地	八島功	
7	上表町	高橋伸	三浦陽美	19	田尻沢	長谷川清俊	
8	県営住宅	三上明		20	高美町	今野周次郎	
9	関町後	阿部民樹		21	はまなす町	高橋和雄	
10	関町	高橋大和		22	日の出町	大門金美	
11	愛宕町	横山誠治		23	改良住宅	清野久雄	
12	市営住宅	藤田友好	今野忠義				

<p>酒・たばこ・各種食料品・雑貨 サトウチップ (5・15・25日 2倍セール) タウンマート サトウ 新屋元町11-24 ☎828-3911 FAX 3107</p>	<p>有限会社 榎食品 きりたんぼセト 秋田市新屋元町9-3 きりたんぼ TEL 018-828-3823 FAX 018-828-3824</p>	<p>醤油・味噌・しょつづる (有)仙葉善治商店 秋田市新屋元町14-10 ☎828-2102</p>
<p>電気設備工事・設計施工 猿田電機工業所 代表取締役 小野一夫 秋田市新屋元町11番11号 TEL828-4037 FAX828-1855</p>	<p>とりき町歯科クリニック 秋田市新屋鳥木町4-47 TEL 888-8222</p>	<p>森永牛乳新屋販売店 大山 淳 新屋高美町6-8 ☎828-5503 FAX828-5226</p>
<p>安心サポート 新屋不動産 〒010-1637 秋田市新屋扇町7-41 オノブロックス構内 TEL 018-888-8844 FAX 018-888-8845</p>	<p>在宅介護 やさしい手 ももさだ店 新屋表町4-3 TEL.828-8812</p>	<p>吉田眼科 吉田コンタクトレンズ 新屋日吉町7-41 ☎828-6080</p>
<p>(親切・迅速・安心) さわやか薬局新屋店 秋田市新屋表町4-1 ☎(888) 8371・Fax (888) 8372</p>	<p>木村内科クリニック 木村 衛 秋田市新屋田尻沢東町10-5号 新屋高校バス停前 TEL 018-828-1112 FAX 828-1114</p>	
<p>みそ・しょうゆ・手作りつゆ 醸造販売元 森九商店 シキシマ 森川亮一 秋田市新屋表町9-40 ☎018(828)2121</p>	<p>富野精肉店 秋田市新屋表町6の15 ☎828-4118</p>	<p>新屋高長寿司 秋田市新屋表町5-6 電話(828)2522</p>

〈特集〉 秋美の一年をふりかえって



秋田公立美術大学

学長 霜 鳥 秋 則

新屋振興会のみなさまには、学生をはじめ大変お世話になっております。ありがとうございます。さて、私、昨年、平成二十七年四月に就任し、一年と数か月がようやく過ぎたころです。

秋田に暮らすのは初めてのことで、実は長年の文部省（現文部科学省）勤務の間でも、出張でいろいろな県には行ったことがあるのですが、秋田は何ったことがなく、最後まで残った2県のうちのひとつとなっておりました。それもようやく最後の方で実現し、今回は住民票を移して「移住」した次第です。よほど「縁」がなかったとしか言いようがありません。しかし、実際に暮らしてみても、何と住みやすく、東京の喧騒にくらべたらゆつくり時間が流れ、落ち着いていた時間が過ごせることに感動しました。もともと北海道の生まれ、育ちで、その上父親の出身地が新潟なので、東北には近いし、雪国生活も

さほど苦になりません。

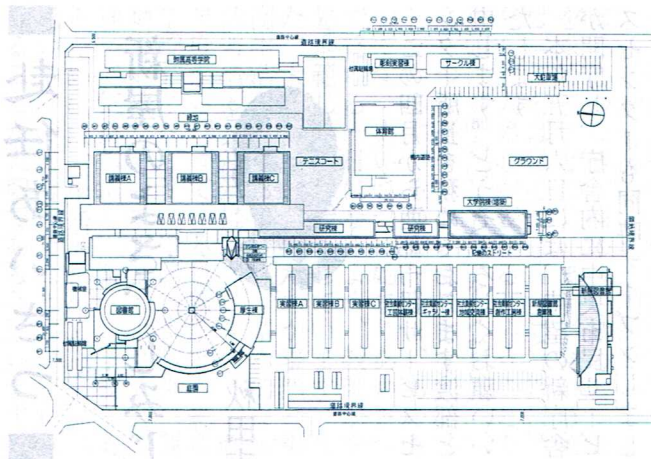
ご案内のように、今年、美大は完成年度になりました。「完成年度」と言っても分かりにくいかと思いますが、四年制になって入学してきた学生が、学年進行により四年生となって卒業を迎える「年度」という意味です。つまりここでやっと一人前の大学になるという年に当たります。これまでは、一応、文科省の監督下に置かれ、当初の計画どおり大学を作っていくことが求められていきます。これがすんだら、後は大学の自主性に任せられ、ある程度自由に教育や研究などが自分で決められるということになります。したがって、平成二十九年度からはもっと自由にカリキュラムを考えたり、教育、研究のやり方にも工夫をしてみたりできると思います。

況に近いらしいのですが、本学は学生の八割が女子です。その上、これはお昼に学生食堂で聞いたのですが、出身地が全国に及んでいることです。文字通り、北は北海道から南は沖縄まで、もちろん地理的な関係から秋田を含む東北出身の学生は三割を占めるのですが、この多様性は一見面白い相互作用を起こすのではないかと期待しているところですが、高校生までの時代は、それぞれに地域の中で育ってきたのですが、大学が「全国」区になればそれだけいろいろな人生経験や多様な考え方を持った友人と出会うことができそうです。それは学生本人にとって貴重な体験になり、勉強の上でも新しい美術の教育環境としても直接間接に影響してくるものではないでしょうか。もちろん、いろいろな教員の影響もあるでしょうね。先生たちもその専門や研究分野も、はては出身地までもさまざまですから、そこからからの影響も当然あると思います。女子が多いというのも、今の時代はさほどハンディキャップにもならない（アメリカでは「ガラスの天井」という言い方がありますが、ヒラリー・クリントンが大統領になればそれも解消でしょう。話がずれてしまいましたが）。美大の女子学生は本当に元気ですね。お祭りにはおみこしを担いだり、地域の活動には積極的に参加してくれています。この意味で

最大の貢献は「ちゃぶ大」でしょう。夏は「おそうじ」、秋には「野菜カレー」、冬は「あつたかちゃぶ」など季節ごとの活動がありました。すっかり地元で溶けこんで活動してくれています。竿燈のときも新屋のみなさんに混ぜていただき男子学生が教えていただいた成果を本番でも発揮してくれました。これらの活動がこれからもしっかりと定着していってほしいと思います。

大学の方では、来年度開校予定で大学院の設置認可の申請を行っております。夏にはその審査結果が出る予定です。美大も他の芸術系の大学と肩を並べて、大学院を持つ大学に向けて発展を図っていきます。今までの卒業生も他の大学院に進学していただく、その需要は少なくないですし、大学院の話がニュースになった時には、外から進学の問い合わせがあつたほどですから、これも期待できるかと思えます。計画中の図にありますが、キャンパスに設置される大学院の建物に新たな教員の研究室と院生の教室も入ります。積極的な教育と研究活動がこれからも行われることを願っています。

今後の課題のひとつに、国際化があります。美術、芸術には国境がありません。日本の秋田と言う地域に根ざしながら、その教育や研究を世界に向けて発信する大学でありたいと思っております。やっと四年制とし



て完成したばかりではありませんが、美術を通して地域、日本そして世界に貢献する大学を目指すものです。最初は教員と学生の交流から始めようと思います。地域のみなさんにお願ひしたいのは、大学での国際的なイベントにも参加していただくと同時に、皆様の中から、世界からやってくるであろう大学生のホーム・ステイの場の提供です。すでにご経験のある方もいらつしやると思いますが、主に短期的な交流の外国人留学生のお世話をお願いできれば大変ありがたいと思います。アメリカなどでは、大学内の寮が完備されていて、外国人留学生は夏季休業の期間など寮生のいない間に利用できるように

なっています。しかし美大ではそのような施設はないので地域のみなさんのご協力が必要になります。まだ具体的にはなっていないかもしれませんが、お願ひとしてお心にとめていただけたらありがたいと存じます。今年度になって大学間交流の会議があったて、台湾に行つてきました。南の台南の大学でシンポジウムなどが行われ参加してきたのですが、台湾の先生方は歴史的にも日本への親近感が強く、留学先も仙台の東北大学で学んだ方が少なくないそうです。そのためか日本語もよくできる教員が多かった印象があります。ホーム・ステイでもお互い言葉が分からないなりに意思疎通ができるようで、お互いに貴重な経験になるようです。

もうひとつ重要なことは、学生の就職問題です。一年生で入った学生が四年生で就職する最初の年になります。彼らがどのような進路を進むのか注目される時がやってきました。まさに大切な「入り口と出口」の問題です。一般に芸術系の大学は就職にはほとんど関心がなく、教員も学生本人もそれで何とかなつてきたのが今までの芸術系の大学でした。でもこれからは、そうも言っていられない時代でしょう。一般の大学の場合はその就職先や就職率というのは、世間から大きな関心もたれます。そこまで至らないまでも、今回の最初の就職は大事なことと思いま

す。芸術家として独立してやっていくにも時間がかかります。最初から作家としての能力や技術が水準以上になっていることはほとんどありません。多くの学生は一定の下積み経験を積んでから一本立ちに至ります。一種の修行時代が必要で、また必ずしも作家にならないまでも、一般の企業でその能力や学んだことを活かす道もあります。美大生の良いところは、今までの一般の大学と違って自分のやりたいことがはっきりしていること、それも新しい発想で新たなことに取り組む力があることです。いわゆるクリエイティブな能力です。これはどのような職場でも必要なことで、それを一番活かせるのが美大生だと思っています。

先日も四年生の学生と話してみたら、まだまだのんびり構えてこれからやつと就職に向けて考えているというくらいな感じでした。中には引く手あまたで、いろいろ見て話を伺つて一番合つていそうなところに決めたという余裕の学生もいたのですが、多くはこれからのようです。全国から来ているせいもありますが、彼ら自身の「地元」就職志向も多いのですが、中にはその「地元」ではなく、秋田のこの新屋に住んで秋田の良さを知り、ここで就職できたらいいという希望を持っている学生もいます。残念なことに彼らの希望に合う企業や就職先が少なすぎるのが

問題です。一度他県や首都圏に出てそこで修行、経験を積んでまたこの地に帰つてここで何かをやりたいという学生もいます。知人で奥さんが秋田の出身で一緒に秋田に住み始めた人もいます。これはリタイア後のケースですが、若いうちにUターンして戻ってくるような時代があるのと、ここ秋田ももつとにぎやかになるのではないのでしょうか。以前ドイツのドレスデンのオペラハウスでこの総裁に聞いた話ですが、学生のうちは授業や親に連れられてオペラを見る機会があったが仕事についている働き盛りの時代は足が遠のいてしまう。しかし、それが終わった後のゆとりのある世代になったらまたオペラハウスに戻ってくる。そういうサイクルでうまく回っているのだという話でした。まさにこれくらい長いスパンで町の発展を計画していけたらいいのではないのでしょうか。美大も少し遠い将来を見据えたうえでその発展を地域とともに歩みながら進めていきたいと思つています。

今後ともどうぞよろしくお願ひします。

赴任あいさつ

新屋のよさ、しみじみと



秋田市民サービスセンター

所長 渡部 和王

この四月から西部市民サービスセンター所長を務めております渡部と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本年五月六日には、待望の新庁舎が開庁し、庁舎内に中央市民サービスセンターも同時オープンしました。平成二十一年、初のサービスセンターとして、ここ西部市民サービスセンターが開設されてから七年、ようやく市内全地域への整備が完了しました。

戸籍・住民票や福祉など市民生活に直結した窓口業務から、子育て、生涯学習、地域活動への支援等、地域の方が身近にご利用いただける施設として、今後も市民サービスの向上に努めたいと思います。

さて、地域資源（歴史ある街並み、美術大学、地場産業等）を活用したまちづくり、そして地域交流の中心となる「新屋まちづくり拠点施設」の建設工事がいよいよ始まります。「芸術と文化が薫るまち新屋」の実現に向け、来年七月の本格オープンを目指して急ピッチで工事も進んでいきますが、地域の皆様には折々に現場へ足を運び、新屋の新たな顔となる施設への期待に胸膨らませていただければ幸いです。

よく「郷に入ったら、郷に従え」といいますが、まずは地域のことを知ろうと赴任後まもなく「文化財イラストマップ」を片手に、新屋のまちを散策してみました。由緒ある神社・仏閣、古くからの町屋、豊富な湧き水、さくら公園・大川散歩道では満開の桜に目の保養をさせてもらいました。徒歩圏内に名所が点在する大変素敵なまちです。また、小島会長さんはじめ、地域の方々とは幾度となくお話をする機会（新屋衆を飲むこと）に恵まれ、町の歴史や風土についても教えていただきまし

た。豊かな自然環境や暖かい土地柄、人柄に触れ、居心地よい（通勤も快適です）毎日を送っておりますが、自分にとってこの地が第二の故郷となるよう、地域の皆様とのご縁をさらに深めてまいりたいと思います。

新屋に思う



秋田消防署新屋分署長

佐藤 幸徳

土崎にすんでいる私にとって新屋は完全アウトエーのような場所です、祭り好きでは他に負けない自信がある「土崎衆」です。

新屋分署に勤務してから早いもので三月が過ぎようとしています。四月は大川端帯状近隣公園の満開の桜やアトリエももさだなど新屋の名所のすばらしさを実感し、五月の日吉山王祭、六月の鹿嶋祭と二つの祭りも初めて見る事ができました。

伝統ある祭りであり、世代を超えた地域住民が一致団結し、御神輿を担ぎ、鹿嶋船を曳く様子は祭り特有の熱気があり感動しました。

この二つの祭りを通じて、新屋の歴史や文化を子供達に伝えていくことの大切さ、子供達が生まれ育った地域のことを理解し誇りに思えることは幸せなことであり、将来新屋が心の拠り所となるのではないのでしょうか。

私の思い出深いひとつに、平成二十年に行われた新屋VS土崎の大綱引があります。この企画は町おこしの一環で、土崎の若手経営者で作る商業組織が新屋衆に対し、「長年のライバル関係である新屋衆と土崎衆で決着をつけよう」と果たし状を送ったのが発端で、その方法が綱引

ということでした。この企画を聞いたときは土崎衆の一人として、「絶対負けられない」と気合が入ったものです。当日は応援に駆け付けましたが、地域の方々が一体となって応援する様子はすごいパワーを感じました。翌年は新屋地区が会場となり開催され、土崎曳山が表町通りを練り歩き新屋地区が盛り上がったことが思い出されます。

今の時代新屋衆と土崎衆の間にライバル関係という意識は無いと思いますが、勝敗は別としてそれぞれの地域の方々が地域の絆や地域の活力を感じ取り、町おこしの起爆剤となったのではないのでしょうか。

八月には雄物川花火大会も開催され、雄物川放水路通水五十周年を記念して始まった大会も今年で二十九回目を迎えられることは、地域の方々のご尽力によるものです。安全安心な大会となるよう、消防も警備体制の万全に努めてまいります。

地域が一つになり何かをやり遂げようと熱意と情熱を傾けることはすばらしいことであり、新しい新屋をつくるためには不可欠です。新屋衆の新しい発想と心意気により、新屋地区がますます活性化することを微力ながら応援させていただきます。

子どもたちの輝く笑顔を

「ことばは心」で地域と共に



秋田市立日新小学校
校長 伊藤 藤

四月より日新小学校校長として赴任いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。本校は、今年度全校児童八六二名でスタートしました。七月七日で創立一四二周年を迎えた伝統ある学校で、たくさんの方の力を尽くして教育活動に取り組みたいと思います。

本校は、今年度の教育目標を「日々新たに！夢輝かせ、たくましく生きる子ども」の育成、副題を「ことばで心つなぎ、認め合い高め合う姿を求めて」としています。合い言葉は、「ことばは心」です。ことばには、発した人の心が表れるということ、念頭に、温かいことばを交わし合い、心をつなぎ合っていくことを大切にしています。その第一歩は、あいさつです。あいさつで始まり、あいさつで終わる一日になるよう、教師が率先垂範しながら指導しています。また、大人数の子どもたちが整然と集団生活ができるように、基本的な生活習慣を身に付けられるよう、昨年度から行っている日新子ども憲章「あ・し・へ・そ・は・い・まもる」運動を継続しています。子どもたちが、通って気持ちよく、楽しい学校であるためには、生活の規律が保たれ、思いやりのこもったことばが交わされるのが大切であると思います。

さて、五月から六月にかけて、二つの祭りに参加させていただきました。日吉神社山王祭では、子どもたちは、「灯笼を持って歩くんだよ。」「今年度は神輿を担ぐんだ。」と祭りを心待ちにしていました。当日は、明るい声がまちいっぱいに響いていました。祭りが終わると、「足が痛かったけれど最後まで頑張ったよ。」と満足げに話してくれた子どももいました。鹿嶋祭では、各町内の鹿嶋船が曳き手として汗を流して歩く子どもたちの姿がたくさん見られました。その中で、町内の方々の指示をきちんと聞いて動く姿を目にしました。新屋のまちが大きく動く祭りの中で、子どもたちが大人に見守られ、しっかりとその歯車の一つとして活動している様子を目の当たりにし、地域の教育力と子どもたちを大切に育てようとする思いの大きさを感じました。地域と学校の教育力を合わせて、子どもたちを育てていくことができるのは、新屋の素晴らしさであると思います。

四月より、新屋栗田町にある県立栗田支援学校に着任しました。西嶋崇広でございます。これまで県内の特別支援学校は、校名を養護学校としておりましたが、平成十九年の法改正により、盲学校・聾学校・養護学校は「特別支援学校」という名称になり、本県では昨年度県の条例を改正し、今年度四月、県内全ての特別支援学校の名称を変更しました。



秋田県立栗田支援学校
校長 西嶋 崇広

さて、私事ですが、栗田支援学校への着任は初めてではなく、三十年前の栗田養護学校独立開校時に赴任し、十一年間お世話になりました。当時は、小学部・中学部だけの学校で、隣接する高清水学園などの市内の施設から通う児童生徒が中心でした。開校二年目に初めて地元の伝統行事「鹿嶋祭」に学校として参加し、実行委員の方や地域の方々から教えてもらいながら、リヤカーの鹿嶋船で始まりました。その後、高等部を開設してからは、卒業後の自立と社会参加に向け、校内での職業教育を実際現場で試すため、職場実習を取り入れたく、ここ新屋地区の事業所を一軒ずつお願いに回る仕事を担当しました。実習の受入を承諾くださった事業所として、日吉神社様、ふれんず様、高島松月堂様、秋田酒造「秋田晴」様、新政酒造瓶詰工場様、栗田クリーニング様、榎

食品様、ふるや商店様、縫工様、友愛の郷様からは、毎年生徒たちの「働く力」の育成にご協力頂くとともに、職員も仕事の厳しさを就職に必要な資質などを直接学ぶ機会となりました。そのほか、寄宿舎を併設しており、土日の寮生活の中で、地域の方々と新屋浜の「ももさだクリンアップ」に参加し、新屋海浜公園の「ももさだカエル」も思い出の一つです。

現在、本校は二五二名の児童生徒が通っており、社会参加と職業自立を目指し、校内外の様々な教育活動を展開しております。その中でも、新屋地区の資源を活用した学習活動を核として、動物園や公園等の環境整備、各種イベントへ積極的に参加しています。また、ほぼ毎週金曜日に開店する、高等部環境・福祉科の飲食提供実習である「ランチくりた」は、地域の皆様に好評を得ており、実践的な職業教育を積み上げております。

今年度は、創立三十周年記念の年として、十月に記念感謝祭「栗田の秋祭」、十一月には記念式典を行います。今後、ここ新屋地域に根ざした学校として、地域の発展に関わりながら教育活動を充実させたいと思います。どうか御指導御支援をお願い申し上げます、新任の挨拶いたします。

新任にあたり

振興会報告

新屋地区に於けるホタル生息環境保全事業と
ホタルの生態について 学ぶ会

6月20日、ウエスターにて標記の勉強会が開催され、町内会長・評議員等42名が参加しました。

秋田市環境総務課より、先ずは子ども用の教材を使って「ホタルの生態」が分かり易く説明されました。

次に、ホタルが生育して行くためには、産卵場所／幼虫が生活する場所／幼虫の餌になる巻貝／巻貝の餌になる苔／蛹になるための乾いた土／ホタルを光から守る森などが必須であることを学びました。

続いて、市からの提案は「秋田市では、環境づくりの一環として、市街地にホタル生息の場を創り出した」と考えている。候補地の一つである帯状公園を、春のサクラだけでなく、夏はホタルを楽しめる公園にしませんか」という内容でした。

しかし、帯状公園はコンクリート水路で水にも塩素が入っており、ホタルは棲めない。別に水路を掘り、別の水を引かなければならないという問題点も明らかになりました。

また、ホタル生息には一匹当たり一坪の水路が必要と言われ、水路は最低でも百坪以上しなければホタルの繁殖は難しそうです。



さらに「ホタル生息保全事業」に取り組むためには、改造工事を実施する／活動団体を創設する／駐車場を確保する／見回り係・駐車場整理誘導係・説明案内係を育成する。という条件が示されました。

活発な質問や意見が飛び交った質疑応答の後「新屋として、市の提案を受けるか？止めるか？」と問われ「受ける」ことと一致しました。

29年度に予算が付けば水路工事が始まり、それまでに新屋は「担当組織団体」を立ち上げなければなりません。いづれ会員を募ることになると思いますが、できればあまり各団体を兼務していない方や若い方々に進んでお申込みいただければ、幸甚です。

新屋の将来のために、多くの方々のご理解をお願い申し上げます。

企画開発部では、次回「空家空地の有効活用」について学ぶ会を9月12日に開催します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

企画開発部部长 赤沼侃 記

平成二十八年度上期

表彰者一覧

市勢発展への貢献を称えて

◎秋田市長表彰社会福祉

佐藤勝男(駅前町)

◎秋田市民生児董委員協議会会長表彰

岡田徳美(沖田町)

辻永賢(愛宕町)

川田直政(北新町)

◎普及会振興賞

石黒明(日の出町)

◎普及活動賞

土田保平(十篠団地)

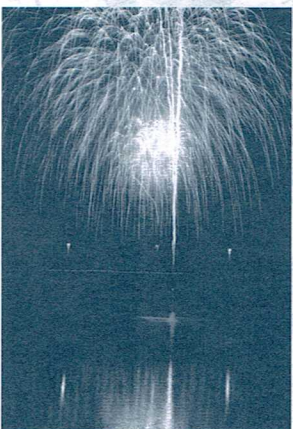
◎秋田県警秋田中央警察署感謝状
森本 讀春(比内町)

雄物川花火大会開催

第二十九回秋田市夏まつり・雄物川花火大会が八月十一日(木・祝日)午後七時半から、雄物川河川敷を会場に行われます。この花火大会は、昭和六十三年に、雄物川放水路通水五十周年を記念して始まったもので、今回で二十九回を数えます。

「ゆめ創造!輝く県都 秋田の未来」を合言葉に、例年通り四部構成

で、花火鑑賞士の解説、音楽に合わせた新作花火、特大スターマインなどが、夏の夜空を彩ります。ご期待下さい。



新鮮一番(鮮魚・野菜・果物)

大塚商店

TEL・FAX(828)4307

電気設備工事・設計施工

株式会社 加島電気工事

秋田市新屋元町5-4 TEL018(828)3118(代表)
FAX018(828)1539

有限会社



秋田魁新報新屋専売所

秋田市新屋元町13の29

電話(828)4102

フリーダイヤル0120-60-4102

新屋の伝統行事

絵灯籠の山車登場

日吉山王祭 統前町新屋駅前町 祭典委員長(町内会長) 高橋 昭一

今年の日吉山王祭は早くから雨の予報が出ており、私共実行委員会は雨対策のことが頭から離れませんでした。その為に頭屋近くの空家をお借りしました。しかし私共の祈りが天まで届き、宵宮祭は社殿の中で斎行されましたが、お差鉾行事は雨にも降られず無事終えることができました。鎮守の杜の神様に感謝した次第です。翌日の例大祭は五月晴れの下、薫風を肌を感じながら神輿渡御が行われ、嬉しさで感動で身が震えるのを感じました。宮司様が社報「日吉」に今年の五月二十六日は旧暦四月中の申(なかのさる)。日吉神社の古来よりのお祭りのご縁日にあたると書いています。減多に巡って来ないこの縁日に私共が統前町としてご奉仕出来ましたことを、とても光栄に思っております。

今年初めて御神幸祭に登場した絵灯籠の山車とあらや囃子は、長い伝統を誇る日吉山王祭の歴史の一頁に新たな足跡として銘記されることでしよう。この記事は翌日のさきがけ新報に大々的に紹介され、新屋の祭りを県民の眼にしっかりと焼きつけたのではないでしようか。二十五日、二十六日は平日で協力員を集めるの

に大変苦労しましたが、町内会の皆様のご理解を示され、この一大行事を成功させるべく心を一つにして最後まで頑張つて頂き、統前町としての大任を無事果たすことが出来ました。祭事終了にあたりまして、親身にご指導、ご協力を頂きました宮司様、神社責任役員の斉藤様初め、多くの関係各位様には心より厚く御礼申し上げます。又、前統前町及び協力町内の皆様にも絶大なご協力、ご支援を頂き、お陰様で盛会裡に本年度の日吉山王祭を終えることが出来ました。本当に有難うございました。



「新屋の鹿嶋祭」当番町をつつ

愛宕町内会 会長 横山 誠治

新屋の鹿嶋祭が「秋田市無形民俗文化財」に指定された年に、鹿嶋祭当番町が回ってきました。

三月五日に前当番町の関町町内会様より引継ぎを受け、各担当の役割等を詳細に説明頂き、当番町としての自覚を新たにし、スタートを切ることになりました。

当町内は、引継後三月二十六日に会議を開き、当番町実行委員会の組織作りと、町内鹿嶋船制作のための組織作りについて話し合いをし、その後四月十日の第一回実行委員会を含め、四回の実行委員会を開き、鹿嶋祭が事故無く終了するよう万全の体制で臨むことを確認するとともに、鹿嶋祭成功のためには、町内会の皆様からの協力が必要なので「鹿嶋祭への協力者の募集について」の文書を回覧し、呼びかけをしました。

当日は天気恵まれ、多くのご来賓のご臨席を賜り、栗田支援学校の入船を最初に鹿嶋祭の神事が開始されました。

神社境内への入船については、ほぼ入船予定時間どおりにいきました。これも、交通指導隊をはじめ各公共



機関の皆様及び各町内鹿嶋祭担当者、更には当町内会員のご協力のお陰で、無事全町鹿嶋祭を終了できましたことを深く感謝申し上げます。

新屋の鹿嶋祭が「秋田市無形民俗文化財」に指定されたことを契機に、これからも鹿嶋祭がますます発展するとともに、子供たちが健やかに育つよう心から祈念し、結びのことばといたします。本当にありがとうございました。

新屋の鹿嶋祭

秋田市無形民俗文化財の指定経過について

新屋鹿嶋祭保存会 調査研究部 金澤 國太郎

我が郷土新屋の「鹿嶋祭」は、三
百数十年も前から子供たちの無病息
災を願う伝統行事として、永々と営
まれております。

しかしながら全二十の町内会と栗
田養護学校とで二十一団体が、これ
ほど大々的且つ賑々しく営まれてい
る新屋の「鹿嶋祭」が、今日まで民
俗文化財として認証されていません
でした。それは、この祭事の歴史上
の伝承経緯の検証が難しかったこと
また運営統括する母体が無かったこ
とに起因しておりました。そこで、
平成二十三年十一月二十日「新屋鹿
嶋祭保存会」が発足され、この住民
こそで参加する素晴らしい伝統行
事を、末永く正しく後世に伝承する
にはどうすべきか等々を協議して参
りました。一方新屋に伝わる「鹿嶋
祭」のルーツを調査研究しながら、
予て念願でありました民俗文化財の
登録申請について、保存会の総力を
結集して、具体的な取り組みを開始
しました。結果、平成二十七年八月
二十八日市教育委員会文化振興室よ
り登録審議の対象となった旨のご通
知を頂き、以後数回の審議会を得て、

平成二十八年三月三十日付をもって
我が新屋の「鹿嶋祭」が秋田市無形
民俗文化財指定の栄誉を賜ることが
できました。郷土の宝である子供た
ちの無病息災を、町民挙げて願う「鹿
嶋さん」の今後のあり方としまして
は、当地においても年々少子高齢化
現象が進む中で、どのような形態の
祭りが望ましいのか、また保存顕彰
と継承者の育成等々につき、保存会
の母体である全町内会が、中心と
なってこれらの課題を克服しなければ
なりません。この度の快挙を契機
に、子供たちが大好きな「鹿嶋さん」
を、新屋衆

の益々の結
束と情熱を
糧に、この
誇らしい祭
事を子々
孫々に伝え
て行こうで
はありませ
んか。



トピックス

知識と知恵と、そして人

秋田公立美術大学景観デザイン専攻助手 新屋参画屋会員 田村 剛

四月九日(土)の午後、新屋で地
域活動に取り組む団体の方々と市民
の方々総勢四十三名が、「未来まち
づくりリレートーク」新屋の団体活
動報告(主催：NPO法人新屋参
画屋)に集まりました。このイベント
は、市民活動に取り組む団体を一般
の方に知ってもらうだけではなく、
各々が持つ持っているアイデアを掛け合
わせることで、今後の活動への新た
な視点の獲得や人々の繋がりを生み
出すきっかけになればと、ワークシ
ョップの方法論を取り入れて企画い
たしました。

今回ご報告いただいたのは報告順
に、NPO法人「松林・あらや」、
あらやちゃぶちやぶちやぶち大学、勝平三角
沼の会、あらや家プロジェクト、新
屋ハマボウフウの会、鹿嶋祭保存会
の六つの団体です。各団体の活動に
は知識や知恵、経験が豊富に盛り込
まれています。それらを取り逃がさ
ないよう、来場者には、各団体の取
り組み内容や考え方を、雰囲気など、
報告を聞いて、「いいな」と思ったこ
とを小さなカードに書いてもらいま
した。団体報告の後には四五人のテ
ーブルに分かれてもらい、カードを
山にしてそこから二枚とって足した
り掛け合わせたりしながら新たな企

画を練る、というグループワークを
実施しました。

その地域に住んでいるという限定
的な意味での「地域住民」が減少し
ていく現代にあつて、地域活動は確
かに少しずつ難しくなってきたいま
す。しかし、理論に基づいてしっか
りと対話の場をつくることで、知ら
ない人とも活発で有意義な議論を
交わすことができます。それは、地
域の外に新たな仲間をつくることに
繋がります。地域に根ざした知識や
知恵を大切にしながら、そこに地域
資源を活用する「人」をどのように
交えることができるか。人が人を呼
ぶという当
たり前のこ
とを忘れず
に、これか
らも場づく
りを考えて
いきたいと
思います。
最後になり
ましたが、
ご報告いた
だいた団体
の皆様お疲
れさまでし
た。



連載 新屋のアスリートたち ②

国体陸上競技男子400m優勝者 高橋慶治

皆様は終戦直後の金沢国体・陸上競技で優勝し、戦後の秋田を元気づけた新屋のランナーがいたことをご存知でしたか？一緒に70年前にタイムスリップしてみましよう。

第2回国民体育大会は石川県金沢市を主会場に、昭和22年10月30日から11月3日まで開催された。

大会4日目、陸上競技一般男子400mに登場した高橋慶治選手は、準決勝で51秒9の大会新記録をマーク。決勝では2位に3mもの大差をつけ、52秒7で優勝した。

現地で応援していた父・多茂次郎氏は「今日は調子が良かったから優勝できると思っていました。皆様の声援で優勝でき、これで郷土の方々の期待に報いることができました」と喜びを語った。



観戦中の父・多茂次郎氏

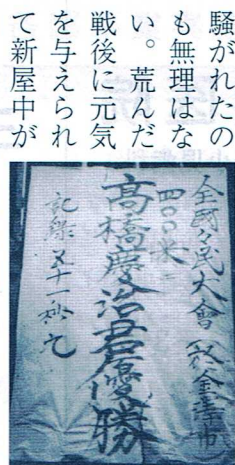
「オレが慶ちゃんを勝たせねば」と町内の三浦捷治、佐々木良吉両氏は、キリタンポや塩魚汁、リングゴ等をどっさり背負込んで金沢入りし、練習場で世話をやくやら、スタンドから声を嗶らして声援するなど、大変な「慶援」ぶりだった。

戦後の混乱期とはいえ、全く無名の選手が日本一になったのだから、騒がれたのも無理はない。荒んだ戦後に元気を与えられて新屋中が湧きかえり、祝賀行列を行って喜び合った。秋田県民に希望と勇気を与えた快挙であった。

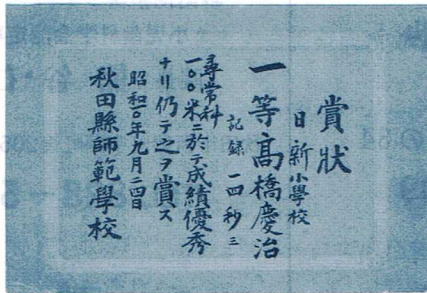
高橋慶治は、下表町で味噌醤油醸造業を営む高橋多茂次郎・千代夫妻の次男として、大正13年2月5日に誕生した。

写真の賞状で分かるように子どもの頃から走るのには速かった。正に「梅檀は双葉より芳し」であった。

日新小学校高等科から進んだ旧制秋田中学でも、早稲田大学商学部時代でも陸上競技部に籍を置いたが、戦時中のため、競技とは無縁だった。



地元で張られた速報ビラ



本格的に練習するようになったのは、終戦直後の代用教員時代に陸上競技の講習会を受けてからである。講師の中央大学の一流選手と互角に走ったのが直接のきっかけになった。

金沢国体の翌年、誘われて中央大学法学部に入學したが、当時の中央大学は箱根駅伝で9連覇するなど黄金時代。高橋は全盛時の中大を副将として支え、関東学生陸上の400mでは23年から3連勝するなど、短距離陣の得点源だった。

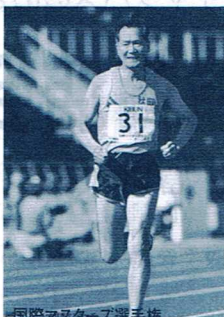
中大OBには秋田県出身で往年の名スプリンター・佐々木吉蔵（36年の秋田国体や39年東京オリンピックのスターターを務めた）氏もいた。

「佐々木先輩には特別目をかけてもらった。先輩を文部省に訪ねた際、いきなりトイレに連れ込まれ、鏡を見ながら腕の振り方を矯正されたこともある」と後に高橋が語っている。

29年の北海道国体30歳以上100mで優勝したのを最後に家業に専念するまで、国体にも毎年出場。毎回のよう上位入賞するなど輝か



大学時代のレースぶり



国際スタジアム選手権40周年記念大会で力走(65歳)

しい競技歴を誇っている。そんな中で、唯一の失敗があった。23年の福岡国体400m準決勝で2連覇を狙ってスタートラインについたものの、タイムリングが合わず、スターターの佐々木吉蔵氏にフライング失格をとられたのである。大先輩で恩人でもある方に宣告されたのは、皮肉としか言いようがない。

平成13年2月12日、新屋の名スプリンターは数々の栄光を残して、77歳で惜しまれながら他界した。学業にも優れ、母校である秋田高校の掲げる「文武両道」を地で行った人であった。

奥様の故・武子氏も陸上競技短距離選手として国体に出場している。

「ご子息は、かつて「慶太郎」醤油で日本一に輝き、現在は「白神酵母菌」研究の第一人者。高橋慶太郎氏。

東証一部の「日通工」元社長の高橋哲次氏は実弟。毎年、日吉大祭に開催されていた町内対抗少年駅伝は、高橋の国体優勝を顕彰して始まったのだが、途絶えて久しい。寂しいことである。

(のばい山きのい)



金沢国体優勝盃

“0才から学童までの総合施設”
私たちは、皆さまの子育を応援しています。

秋田市新屋表町 8-19
及び 8-5

乳幼児保育 対象児 0才～3才
グリーンローズ保育園

☎828-3049
朝7時から夕方7時
健康に配慮した手厚い保育

子育てやことば・きこえの相談

「ことば」の教室

子ども発達支援センター

オリブ園

☎828-7750 828-0140
0才代からの専門的育児相談
ことばの発達・きこえの支援

共に育つ 対象児 3才～5才
認定こども園ルーテル愛児幼稚園

☎828-3038
キリストの慈しみと個性を育てる教育
夕方7時までの長時間保育
夏休み・冬休みの預り保育

学童保育ーてる

おもちゃの図書館

おもちゃライブラリー

☎828-0140
毎月第一・第三水曜日 保育園二階
無料 きがるにおいて下さい

明日の空気を変えていく



土木工事一式・環境整備事業
豊興産株式会社

代表取締役 石黒 望
〒010-1637 秋田市新屋扇町12番49号
☎ 828-4611(代) FAX 828-3373

堀部歯科医院

歯科、矯正歯科、小児歯科



堀部 真知子
堀部 幸子

秋田市新屋表町11番3号

☎ 828-4323

三浦歯科医院

三浦 捷也

秋田市新屋元町 22 の 34

☎ 828-2109

小児歯科・一般歯科
くまがい日吉歯科医院

小児歯科学会認定専門医
院長 熊谷 仁志

秋田市新屋町字関町後205-1(県住通り)

TEL 828-5582

いい暮らし届けたい

nices

ナイス新屋店

☎ 018 (828) 6911

明かるいまちなみを
演出する

新屋街路灯組合

TEL 828-4310

FAX 828-4317

水と緑に囲まれた
芸術キャンパスのある街

新屋商店会

会長 富野 昭雄

梅若芸能企画

〒010-1637 秋田市新屋扇町85-22
TEL (018) 828-4638
FAX (018) 827-7880

有限会社 小玉自動車

民間車検工場、全労済指定工場、車検、钣金塗装
良い設備、すぐれた技術、まごころサービス

秋田市新屋扇町 7-8 828-5645 (代)

ブティック ティファニー

店主 小野 トシ子

新屋扇町 92-74
018-828-4265

＝創業84年＝

植林から製材・木造建築・土地開発までの一貫生産
山林部・製材建材部・建設部・不動産部

高松木材

☎828-4310 FAX 828-4317

秋田市新屋大川町20-3(西中グラウンド隣り)

＝痛みが和らく温まりの湯・皮膚によく効く美肌の湯＝

総ヒバ造りの純木造大型建築

福祉健康新屋温泉

☎888-8800 FAX 888-8700

○営業時間 開館午前10時～閉館午後9時
○定休日 月曜日(祝日の場合は翌日火曜日休み)

小規模多機能型
居宅介護 **ひかり苑**

小規模多機能型
居宅介護 **ありがとう**

有料老人ホーム
やすらぎホーム **きざし**

有料老人ホーム **あかり**

Welfare Co., Ltd.
(株)ウェルフェア
〒010-1632
秋田県秋田市新屋大川町11-18
TEL: 018-828-8006

お花見の特等席
日替弁当・大小宴会(30名様迄)承ります。

楽亭 すずらん

新屋元町桜並木通り ☎828-3233

新鮮なネタが自慢 宴会場あり20名様まで

小料理 **栄月**

新屋元町19-10
TEL 828-4658

ブライダルメイク
舞台化粧 着付
婚礼一般 着付

フキ美容室

新屋元町19-13 TEL 828-3623
FAX

2歳の春から幼稚園

新屋幼稚園

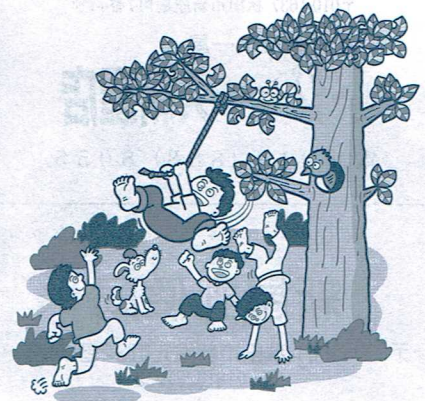
〒010-1637
秋田市新屋扇町4-27
TEL 018-828-2119
FAX 018-828-2207

広いグラウンドで待ってるよ!!



学童保育 **あらやチャレンジクラブ**

〒010-1637 秋田市新屋扇町6-38 TEL 018-811-4093



医療と介護の安心を
株式会社フォーエバー

秋田市新屋大川町18-7 TEL018-828-1850

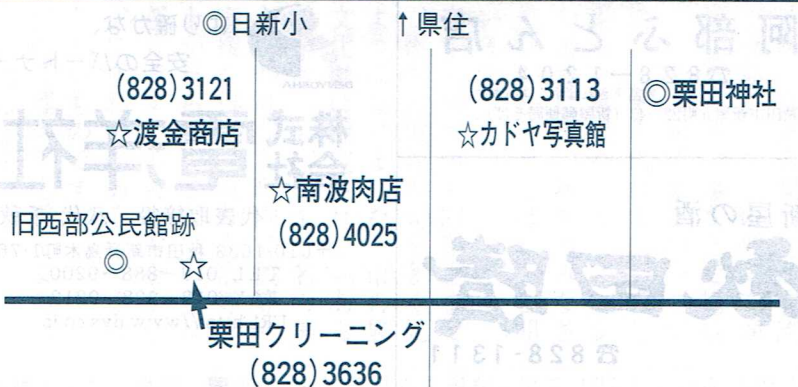


おしゃれサロン みうら
秋田市新屋栗田町16 ☎(018)828-2156
携帯 090-6455-9955
訪問美容に対応できます。

— 買物は新屋地区の商店街から —

暮らしの応援団！地元の専門店が一番

《肉の南波・文具は渡金
写真はカドヤ・クリーニングの栗田》



内科・外科

一戸医院

月曜から金曜 午前9:00~午後6:30
土曜 午前9:00~正午まで

☎828-2221

秋田市新屋大川町9番7号
美術大学入口・バス停前

港中央薬局

秋田市新屋大川町15-1
TEL 018-828-9060
FAX 018-828-6251



車のことなら なんでも

有限
会社

石和田自動車

秋田市新屋大川町19-81

0120-28-3037

〒010-1637 秋田市新屋扇町7番44号

(株) 秋田ト一屋

ドジャース新屋店

電話 018 (888) 8055

思いやりと
心ゆたかな子どもたち



社会福祉法人新屋厚生会

日新保育園

御料理・折詰・仕出し

工藤旅館

新屋扇町3-22 ☎ 828-4706



ローソン

1号店 秋田新屋 比内町店

TEL828-0807

2号店 秋田新屋 日吉町店

TEL828-8933

24時間営業

カーテン・ジュウタン・クロス

鈴木内装

日吉町7-17 TEL 828-5144

鈴木 富夫

新屋郵便局

〒010-1631 秋田市新屋元町22番38号
TEL018(828)4324

高尾ハイヤー(株)

配車専用 839-2231

ジャンボタクシー

U D タクシーもどうぞ



Cake and Cooky
あたまは分もたま

15-5
828-4103

新屋駅前郵便局

〒010-1637

秋田市新屋扇町13-31

TEL 828-4200



慶弔花籠・会場装飾・いけ花素材
Flower Communication

石井生花店

〒010-1631 秋田市新屋元町22-44

TEL 018-828-4428

FAX 018-828-4267

石井生花店インターネットショッピング

URL : <http://www.ishiihanaya-akita.jp>

E-mail : shop@ishiihanaya-akita.jp



JA全農グループ

株式会社 全農ビジネスサポート

秋田支店

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1番41号

TEL : 018-888-8000 FAX : 018-888-8243

URL : <http://www.z-bs.co.jp>

もとまち歯科医院

西村 圭史

新屋元町5-38

☎ 888-8814



8月7日は水神のまつり
新屋には水に感謝するまつりが
受け継がれています

日吉神社

秋田市新屋日吉町10番67号
TEL 018-828-3033

“信用と技術を売る店” 一級寝具技能士
打直し・仕立・寝具一式
タオル花輪・贈答品ギフト各種

阿部ふとん店

☎ 828-1204

電話下さればすぐ伺います。

秋田市新屋元町22-43 (新屋郵便局そば)

新屋の酒

秋田晴

☎ 828-1311



より確かな、
安全のパートナー

株式会社 電洋社

代表取締役 八代 千秋

〒010-1633 秋田市新屋鳥木町1-76

TEL 018-888-9200

FAX 018-828-9212

URL <http://www.dys.co.jp>